

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【公表番号】特表 2010-530348 (P2010-530348A)
 【公表日】平成 22 年 9 月 9 日 (2010.9.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-036
 【出願番号】特願 2010-512419 (P2010-512419)
 【国際特許分類】

C 0 3 B 35/18 (2006.01)

F 2 7 B 9/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 B 35/18

F 2 7 B 9/24 R

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 6 月 9 日 (2011.6.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ガラス板の製造で用いるロールであって、シリカを含有し且つ外部表面、縦軸および縦軸に沿って向かい合った両端部を有する円筒状本体、実質的に散粉しない材料からなる複数の引取り平板を有し、各引取り平板は外部エンドプレートと内部エンドプレートとの間に挟まれていて、該外部エンドプレートは外部保持部によって本体に固定されそして該内部エンドプレートは内部保持部によって本体に固定されている、前記ロール。

【請求項 2】

前記外部保持部が、(a)外部エンドプレートの内部表面を補完的に占める傾斜面と、本体中の凹所にかみ合う第 2 の表面とを有する構造であって、前記凹所は保持部の凹所からの移動を制限する不連続部を有する凹所とを有する、構造、および(b)溶融石英を含有する圧縮取り付け部、からなる群から選択される構造を含んでいる請求項 1 に記載のロール。

【請求項 3】

前記円筒状本体が、溶融石英を含有する請求項 1 に記載のロール。

【請求項 4】

前記引取り平板が、25～35 の範囲のショア硬度 D を有する請求項 1 に記載のロール。

【請求項 5】

前記引取り平板が、散粉しない耐熱性セラミックを含有する請求項 1 に記載のロール。

【請求項 6】

前記引取り平板が、マイカおよび粘土を含有する請求項 5 に記載のロール。

【請求項 7】

前記引取り平板が、耐熱性バインダーを含有する請求項 6 に記載のロール。

【請求項 8】

前記外部保持部が、溶融石英を含有する請求項 1 に記載のロール。

【請求項 9】

前記両端部が、本体に固定して締め付けられた端部キャップによって覆われている請求

項 1 に記載のロール。

【請求項 10】

前記端部キャップが、金属を含有する請求項 9 に記載のロール。

【請求項 11】

前記端部キャップが、本体に機械的に固定されている請求項 10 に記載のロール。

【請求項 12】

少なくとも 1 つの機械的支持部が引取り平板を支えている請求項 1 に記載のロール。

【請求項 13】

ガラス板の製造で用いるロールであって、シリカを含有し且つ外部表面、縦軸および縦軸に沿って向かい合った両端部を有する中空の円筒状本体、実質的に散粉しない材料からなる複数の引取り平板を有し、各引取り平板は外部エンドプレートと内部エンドプレートとの間に挟まれていて、該外部エンドプレートは外部保持部によって本体に固定されそして該内部エンドプレートは内部保持部によって本体に固定されていて、該中空の円筒状本体が内部空洞を規定する、前記ロール。

【請求項 14】

前記空洞を通して延びる金属棒をさらに含む請求項 13 に記載のロール。

【請求項 15】

前記内部金属棒が、複数の支持体によって中空の円筒状本体にはめ込まれている請求項 14 に記載のロール。

【請求項 16】

ガラス板の製造で用いるロールであって、熔融石英を含有し且つ外部表面、縦軸および縦軸に沿って向かい合った両端部を有する円筒状本体、粘土およびマイカを含有する複数の引取り平板を有し、且つ各引取り平板は外部エンドプレートと内部エンドプレートとの間に挟まれていて、該外部エンドプレートは外部保持部によって本体に固定されそして該内部エンドプレートは内部保持部によって本体に固定されている、前記ロール。